

# ま え が き

令和5年度大学入学共通テストは、令和5年1月14日・15日（追・再試験1月28日・29日）に176の国公立大学と535私立大学、8公私立専門職大学、151公私立短期大学が参加して実施されました。受験者数は474,051人で、新型コロナウイルス感染症予防対策等も講じながら実施した試験は、今回も多くの関係者の方々の御協力により完了することができました。

独立行政法人大学入試センターでは、大学入学共通テストの試験問題の分析・評価を行うために、大学入学共通テスト問題評価・分析委員会を設置しております。当委員会は、各都道府県教育委員会等から推薦された高等学校教員等から成る外部評価分科会と、試験問題を作成した問題作成部会委員から成る自己点検・分析・評価分科会の二つの分科会で構成され、それぞれに分科会長を置いております。また、これとは別に、各試験科目に関連が深い関係教育研究団体にも意見・評価を依頼しております。

令和5年度試験終了後、大学入学共通テストで出題された試験問題の内容・範囲、分量・程度、表現・形式等について、外部評価分科会及び関係教育研究団体から評価結果をいただきました。そしてこのたび、これらの意見・評価に対する自己点検・分析・評価分科会の見解を付して、「令和5年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書」を作成いたしました。本報告書の内容は、今後の大学入学共通テストの問題作成に寄与することはもちろん、各大学における入学試験問題作成の参考にもしていただけるのではないかと考えております。また、高等学校における各科目の教育の参考資料としても御活用いただければ幸いです。

大学入試センターとしては、大学入学共通テストの試験結果等を十分に分析、研究するとともに、本報告書に掲載されている意見をはじめ各方面から寄せられたご指摘も参考にして、より良質な試験問題の作成に取り組んでいく所存であります。

各位の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年6月

独立行政法人大学入試センター 試験・研究統括官

大学入学共通テスト問題評価・分析委員会委員長 山地弘起